

プランクトン調査結果のお知らせ

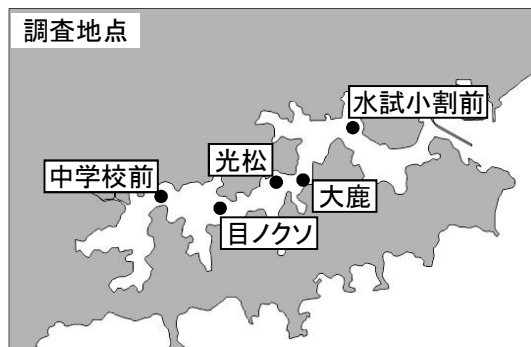
平成27年5月5日午前8時から浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なシャットネラ属(シャットネラ・マリナ、シャットネラ・アンティカ)、カレニア・ミキモトイなどが確認されました。今後の動向に注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属 (マリナ、アンティカ)	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ヘテロシグマ・アカシオ	フィプロカプサ・ジャポニカ
中学校前	0m	4	0	0	5	0
	2m	10	0	0	10	0
	5m	58	2	0	3	1
	10m	1	1	0	0	2
目ノクソ	0m	2	0	0	8	0
	2m	11	0	4	8	0
	5m	32	0	2	0	2
光松	0m	0	0	0	1	2
	2m	5	0	2	1	2
	5m	13	0	0	0	2
大鹿	0m	3	0	0	3	0
	2m	0	0	0	0	0
	5m	4	0	0	0	0
水試小割前	0m	5	0	0	1	0
	2m	0	0	2	0	0
	5m	6	0	0	0	1

(cells/ml)



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・シャットネラ属: 10~100cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・コクロディニウム・ポリクリコイデス: 数百~1,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・フィプロカプサ・ジャポニカ: 赤潮発生時(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>